(3) ビューティーメイクコース

教科科目	科目の特長	科目の目標
香粧品学	香粧品に関連する法律や規制の学習から、化粧品と医薬部外品の相違点について理解を深める。香粧品原材料の成分や特性を理解し、自分が使っている化粧品の長所・短所を理解する。	香粧品や基礎化粧品メイクアップ用品の原料物質・性質を理解する。正しく理解することで、肌の状態、季節など、肌を取り巻く状況に応じて香粧品の正しい使い方ができるようになる。
接客マナー	接客業を中心としたビジネスにおける最低限のマナーの知識を身に付け、就職についての知識を深め、実際に接客業で働いている方々の講演を聞くことで、より自身が働いているイメージを膨らませる。	ビジネス、特に接客におけるマナーを身につけ、社会人として必要となる実践的な知識を定着させ、接客業以外でも活躍できるようなコミュニケーション能力を身につける。
デッサン	観て・触れて・感じたことを描写を通して表現する。対象物の形をとらえることに慣れてきたら、それをどのように表現するか考える力を養う。	対象物を観察し、的確に表現する力、イメージしたものを想像する力を身につける。
メイクⅠ	自分の顔や肌の特性を知り、なりたいイメージのメイクを仕上げる為の基本のテクニックを習得する。また、スキンケアやベースメイク、メイクアップの基本技術、メイクモデルに対してのマナーや声掛けの仕方を習得する。	JMA セルフメイク検定試験の合格 JMA メイクアップ技術検定試験3級の合格をめざす。
メイクⅣ	IBF 国際美容連盟の NY Make-Up Academy のカリキュラムに基づき、国際メイクアップアーティストとして必要な理論と技術を習得する。基本的なメイクアップ、各パーツ技術を習得後、顔分析を行った上でのフルメイク技術の完成を目ざす。	IBF 国際美容連盟　国際メイクアップアーティストライゼンス認定試験の合格を目標とする。
メイクアドバンスⅠ	今まで身につけた基礎知識・基礎技術からさらにスキルアップを目指し、コンテスト入賞のための高度なメイク技術を身につける。	メイクアップというクリエーションにおいて大切な要素「応用技術」「感性」「創造」「分析」を身につけメイクアップアーティストに求められる知識・技術を習得する。
メイクアドバンスⅡ	各々の感性や創造力を駆使して、卒業前に2年間の集大成の作品を制作する。	ショーメイクや作品制作に必要なプロフェッショナルな知識・技術を習得する。
ブライダルⅠ	ブライダルプロデュースに関わる役割や結婚式を創り上げるための様々なノウハウを習得する。	ブライダルに関する基礎知識や基礎技術の習得し、時代とともに変化する挙式、及び披露宴のスタイルを知るとともに、ウェディングプランナー検定取得をめざす。
ネイルⅠ	ネイリストとしての基礎であるネイルケア、カラーリング、検定アート、ジェルネイル基礎を中心に検定合格レベルに達するように、実技、学科を進めていく。	JNEC 日本ネイリスト技能検定3級実技・筆記試験、JNAジェルネイル技能検定初級の合格をめざす。
特殊メイク	特殊メイクの種類、使われる道具についての理解と知識、また実技を中心に傷、火傷、痣などの基礎的な技術を身につける。	映画などで様々な分野で使用される特殊メイクの基本を学ぶとともにビューティーでも使用できる技術の習得。